



開催日程: 2025年7月16日(水) 10:00~19:00
会場: 赤坂インターシティコンファレンス



ROKLive 講演プログラム 2025 年 7 月 16 日 赤坂インターシティコンファレンス

ロックウェル・オートメーション主催 ROKLive (ロック・ライブ)イベントへお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

本日のプログラムをご案内いたします。

午前中は基調講演、そのあと、3 つの会場に分かれて、お昼の軽食をお召し上がりになりながら、協賛パートナーのランチョンセッションをお聞きます。続いて、4 つの会場に分かれてのロックウェル・オートメーションと協賛パートナーのセッション、その後にユーザ様によるご講演を会場 Air で実施いたします。最後に、本日のまとめとしてのパネルディスカッションを開催します。

講演の間のブレイク時間には、会場 Green と通路にて弊社および協賛パートナーによるデモ展示をご覧いただけます。

午後は、デモ展示コーナーにコーヒーもご用意しております。また、講演終了後は、懇親会を開催いたしますので是非ご参加ください。

	通路	Amphitheater	Green	Air	401 ルーム	402 ルーム	404 ルーム
10:00 ~11:35	デモ展示		デモ展示	基調講演 「オープニングリマース」 アメリカ合衆国大使館 商務部 上席商務官 マイケル・ミドルトン 様 ビデオメッセージ アジア太平洋地域社長 スコット・ワールドトリッジ 「製造業の未来を拓く 〜 日本のものづくりをより強くする生産の革新と効率を融合」 代表取締役社長 矢田 智巳 様 「Physical AI への挑戦: AI ロボット協会と JST CREST の構想」 早稲田大学教授 尾形 哲也 様 「日本の強みを活かした生成 AI 具備自動化・ロボット化のこれから 〜 ロボットによる自動化のこれまでの 50 年とこれからの 25 年〜」 東京大学名誉教授 佐藤 知正 様			
11:35 ~11:50				移動・デモ見学			
11:50 ~12:30	デモ展示	ランチョン講演「デジタルツインを推進する企業へのロボット・AI・シミュレーション技術を用いた富士ソフトの取り組み」 富士ソフト株式会社 小西 大地 様 橋本 政人 様	デモ展示	ランチョン講演 「海外工場に学ぶ！スマートファクトリーに必要なデジタルインフラとは」 システムズ合同会社中川 貴博 様	ランチョン講演 「アビームコンサルティングが挑戦するデータドリブンな現場改革」 アビームコンサルティング株式会社 小川 早百合 様		
12:30 ~12:45				移動・デモ見学			
12:45 ~13:10		安全計装(SIS)講演 「フロント安全計装の市場動向及び最新シナリオソリューション」 東京電機工業株式会社 水戸 邦太 様 & 株式会社守谷商会 + 高松 典彦			ロックウェル講演 「近未来の生産制御基盤 〜ソフトウェアファインド オートメーション」 (代表取締役社長 矢田 智巳)	ロックウェル講演 「どう進めればいいの？」が第一の壁。OT セキュリティ対策の課題と本当の進め方」(浜田 剛史)	ロックウェル講演 「お客様自ら変化に対応できる製薬製造向け MES 及び周辺ソリューション」 (藤澤 俊彦)
13:10 ~13:25				移動・デモ見学			
13:25 ~14:05				ユーザ講演「データで拓く工場の未来: 住友ゴム工業の製造 DX」 住友ゴム工業株式会社 伊部 剛 様			
14:05 ~14:20				移動・デモ見学			
14:20 ~14:45		PLEX + MES コラボ講演 「Plex を活用した製造業 DX における NSW の取り組み」 NSW 株式会社 堀内 忠彦 様 + 吉崎 哲郎			ロックウェル講演 「近未来のデータ基盤 〜デジタルフレッド」 (渡 則男)	ロックウェル講演 「えっ、AI がラダーを設計? ..そんな時代なんです」 (富田 真司)	ロックウェル講演 「リニア搬送システムと自律型搬送ロボット AMR が叶えるスマートファクトリー物流の最前線」 アルテック株式会社 辻本 茂浩 様 + 李 花子
14:45 ~15:00				移動・デモ見学			
15:00 ~15:40				ユーザ講演「デジタル クリーン ファクトリー」 Daikin Tsingyan Advanced Technologies (ダイキン工業株式会社の化学事業) 冷 尋琴 様			
15:40 ~15:55				移動・デモ見学			
15:55 ~16:20		本質安全コラボ講演 「本質安全防壁による低コスト・信頼性の高い防壁対策」 株式会社ビーアットエフ 清水 学 様 + 盛岡 良成			ロックウェル講演 「近未来の仮想空間 〜デジタルツイン」 (高松 典彦)	ロックウェル講演 「製品画像認識 AI&設備監視 AI で実現する品質改善と予防保全」 (石川 鉄郎)	ロックウェル講演 「省人化・スマート製造のカギを握る！ PLC・モーション・安全制御等を一つにする統合アーキテクチャとは？」(松山 昂彦)
16:20 ~16:35				移動・デモ見学			
16:35 ~17:15				パネルディスカッション「失われた 30 年を断ち切る製造現場の抜本改革」 パネラー: ・東京理科大学 工学部情報工学科客員教授 松尾 祐一 教授 ・Biopharmaceutical Facility Engineering & Consulting 上根 祐 様 ・株式会社ジャムコ 河崎 正博 様 モデレータ: 湊 剛男 司会: 菅原 一雅			
17:15 ~19:00				カクテルパーティ			

講演プログラム

● 10:00-10:25 会場 Air ご挨拶

「オープニングリマックス」

アメリカ合衆国大使館 商務部 上席商務官 マイケル・ミドルトン様



駐日米国大使館商務部にて上席商務官として勤務している。米国連邦政府商務省にて中国を中心に、アジア、アフリカそしてワシントン D.C.で勤務した。現在の主な担当産業は航空宇宙、先端製造技術。

「製造業の未来を拓く ～ 日本のものづくりをより強くする生産の革新と効率を融合」

ロックウェル・オートメーション 代表取締役社長 矢田 智巳



ロックウェル・オートメーションに入社以前は、IT 業界においてコンシューマーリテール事業の立ち上げを行い、リテール営業本部長などの要職を経験。その後ダッソー・システムズ株式会社のバリューソリューション事業部において技術統括に従事し、のちに執行役員・事業本部長を務め同社事業の転換と拡大に貢献。2020 年 1 月よりロックウェル・オートメーション現職。カーネギーメロン大学経営学修士。

● 10:25-11:00 会場 Air 基調講演

「Physical AI への挑戦：AI ロボット協会と JST CREST の構想」

生成 AI の実世界応用である「Physical AI」の急速な発展に伴い、ヒューマノイドをはじめとする汎用 AI ロボットの世界的な応用開発競争が続いている。本講演では、ロボット基盤モデルをキーワードにして、講演者のこれまでの研究活動、および講演者が理事長を務める AI ロボット協会(AIRoA)の狙い、また講演者が研究総括を務める JST CREST「実環境知能システム」の概要を紹介する。

早稲田大学 理工学術院 尾形 哲也 教授



1993 年早大卒。同大助手、理研研究員、京大准教授を経て、2012 年早大教授。2017 年産総研特定フェロー、2024 年 NII 客員教授。2025 年 AI ロボット協会理事長、CREST 領域研究総括を兼任。

● 11:00-11:35 会場 Air 基調講演

「日本の強みを活かした生成 AI 具備自動化・ロボット化のこれから ～ロボットによる自動化のこれまでの 50 年とこれからの 25 年～」

ロボットは統合の産物である。機構と制御の統合から始まり、工場との統合や地域おこしの統合へと範囲を拡大してきた。生成 AI はロボット統合の強力な手段であり、人とロボットの革新的な統合も可能とする。本講演では、ロボット 50 年の流れをたどりながら、生成 AI によって強化されたロボット(Human&GAI-In-The-Loop Robot: コ・ロボット)の姿と将来展開について、製造分野を中心に説明・展望する(一部サービス)。

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 佐藤 知正 名誉教授



1976 年東大産業機械工学科博士課程修了同年電総研入所。1991 年東大先端研教授、機械情報教授を経て 2013 年定年退職。その間、日本ロボット学会会長、ロボットデリバリー協会代表理事、RobiZy 理事長、NEDO アドバイザなどを歴任。

● **11:50-12:30 Amphitheater ランチオン講演**

「デジタルツインを推進する企業へのロボット・AI・シミュレーション技術を用いた富士ソフトの取り組み」

デジタルツイン実現に向け、各企業が抱えている課題に対しての富士ソフトの様々な課題解決手法をご紹介します。具体的には、産業用ロボットを軸として、Emulate3D に代表される「エミュレーション技術」や各種分析に必要な「データの見える化」、さらに昨今重要度が益々高まっている「生成 AI 技術」を活用した富士ソフトの取り組みをご説明します。

富士ソフト株式会社 インダストリー事業本部 PE 事業部 産業機器ソリューション部 部長 小西 大地 様



2004 年 富士ソフト (株)入社。以降、技術者として FA ネットワーク (PROFIBUS, FL-NET)や PLC ラダー関連のソフト開発に従事。現在は製造業の工場向けに IoT のインテグレーションを推進中。

富士ソフト株式会社 技術管理統括部 先端技術支援部 ロボットインテグレーション室 室長 橋詰 政人 様



1992 年 富士ソフト入社、携帯電話を含め数々の組み込みソフトを開発
2000 年 ネットワークを含めたインフラ関連を構築
2010 年 自社開発ソフトを導入・運用
2015 年 ロボット関連ソフトの研究開発に従事し現在

● **11:50-12:30 Air ランチオン講演**

「海外工場に学ぶ！スマートファクトリーに必要なデジタルインフラとは」

スマートファクトリーの実現においては、生産現場データの収集と利活用が重要です。その一方でセキュリティリスクへの懸念は高まっています。本講演では、ネットワークを通じたデータ収集と制御通信の双方を両立し、セキュリティ対策も実装した工場ネットワークのありべき姿について講演します。また、6 月に米国で開催されたイベント「Cisco Live」で発表された新製品についても紹介します。

シスコシステムズ合同会社 IOT 事業部 担当部長 中川 貴博 様



医療機器メーカー、外資系 IT 企業を経て 2016 年よりシスコシステムズに在籍。製造業や金融機関向けのお客様担当営業を経て、2019 年より現在の役割につき、製造業や電力事業のデジタル化を推進。産業用ネットワークの各種業界団体にも在籍。

● **11:50-12:30 401 ルーム ランチオン講演**

「アビームコンサルティングが挑戦するデータドリブンな現場改革」

皆さんは、現場の状況をどれだけ正確に把握していますか？それとも、やろうと思っているものの、諦めてはないでしょうか。アビームコンサルティングは、現場のオートメーションと自律化の第一歩、それは「現場の可視化」だと考えています。今回は、その初めの一歩の方法をご紹介します。また、その実現には MES の活用が重要です。なぜ MES が重要になるか、また、どの様に検討を進めるべきかも合わせてご紹介いたします。

アビームコンサルティング株式会社 サステナブル SCM 戦略ユニット シニアマネージャー 小川 早百合 様



製造業の業務改革やシステム導入などに従事。特にプロセスマイニングやタスクマイニングを活用した改善余地特定を得意とする。
過去 50 社以上の支援実績があり、プロセスマイニングについて複数回登壇経験あり。

● 12:45-13:10 Amphitheater 安全計装(SIS)講演

「プラント安全計装の市場動向及び最新シンプルソリューション」

通常計装および安全計装、機械安全およびプロセス安全、これらの統合が市場で求められています。市場要求を満たすシンプルな安全計装プラットフォームを紹介します。実績豊富な東京電制、市場ニーズを知る守谷商会、海外からのシンプル最新ソリューションを提供するロックウェル、3社で御社の安全計装ソリューションをご提案します。

東京電制工業株式会社 & 株式会社守谷商会 + ロックウェル・オートメーション



東京電制工業株式会社 取締役 営業部長 水戸 亮太 様

多数の安全計装エンジニアを抱え、長年、多くのプラントメーカーを支援してきたシステムインテグレーターである東京電制工業で、取締役として営業面の統括をしている。



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 グローバルデジタル設計ツール 部長 高松 典彦

1997 年三菱電機入社、燃料電池発電、原子力発電プラントの計装制御エンジニアを経て、2006 年ロックウェル・オートメーション入社、自動車グローバルプロジェクトマネージャー、システムソリューション技術部長、生産機械メーカー営業部長を経て、2021 年から現職。東工大修士、米国 P.E., PMP。

● 12:45-13:10 401 ルーム ロックウェル講演

「近未来の生産制御基盤～ソフトウェアデファインドオートメーション」

今後の製造という事柄を見据えた時、より一層の生産性の向上や柔軟な各種設備の迅速立ち上げといった対応が急務となっています。一方で、製造現場では恒久的な人手不足や知見継承に悩まれ、前述のような対応を実施するには実数が足りないという現実に直面します。これらを総じて解決に導く新たな原動力がデジタルの技術であり、今回は、その一端である SDA (Software Defined Automation)について触れます。



ロックウェル・オートメーション 代表取締役社長 矢田 智巳

ロックウェル・オートメーションに入社以前は、IT 業界においてコンシューマーリテール事業の立ち上げを行い、リテール営業本部長などの要職を経験。その後ダッソー・システムズ株式会社のバリューソリューション事業部において技術統括に従事し、のちに執行役員・事業本部長を務め同社事業の転換と拡大に貢献。2020 年 1 月よりロックウェル・オートメーション現職。カーネギーメロン大学経営学修士。

● 12:45-13:10 402 ルーム

「『どう進めればいいのか?』が一番の壁。OT セキュリティ対策の課題と本当の進め方」

OT セキュリティ対策、やらないといけなのは分かっているけど、なかなか手を付けられていない。そのような状況をどう打破するのか、明日から動き出せるような具体的なアプローチに触れながらご説明します。



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社
サイバー デリバリー コンサルタント 浜田 剛史

● 12:45-13:10 404 ルーム

「お客様自ら変化に対応できる製薬製造向け MES 及び周辺ソリューション」

製薬向け MES の FT PharmaSuite は、豊富な状態機能を持ちユーザによる設定が容易なため、変化に柔軟に対応が可能です。本講演ではその特長と弊社の周辺ソリューションをご紹介します。



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 エンタープライズソフトウェア
ソリューションコンサルタント 藤澤 俊彦

● 13:25-14:10 会場 Air ユーザ講演

「データで拓く工場の未来：住友ゴムの製造 DX」

住友ゴム工業では変化に対応できる柔軟な仕組み作り、それによる事業効率の向上を目指し、2025 年までのデジタル基盤の整備及び活用を掲げて活動を進めております。2019 年に導入を決定した共通デジタルプラットフォームは、国内外の複数拠点へ拡大し、活用が始まっており、MES も国内工場での実装段階にあります。昨年 7 月の名古屋講演で紹介した当社活動の現在進捗と共に、今後の展望についてお話いたします。

住友ゴム工業株式会社 タイヤ生産本部 製造 IoT 推進室長 伊都 剛 様



新卒で旧オーツタイヤに入社、住友ゴム工業への吸収合併を経て同社の国内外工場設備における新設・改造・更新他エンジニアリング業務に従事。保全業務を含む国内工場マネージメントなどを経験し、2021 年 1 月から現職。

● 14:20-14:45 Amphitheater PLEX + MES コラボ講演

「Plex を活用した製造業 DX における NSW の取り組み」

Plex のスマートマニュファクチャリングプラットフォームを活用し、ERP/MES 層と現場層を統合することで、工場全体のデジタル化と見える化を実現します。本講演では、『DRIVE 製造業 DX』を推進する NSW の取り組みについてご紹介します。具体的には、お客様との共創と伴走支援、業務推進ステップ、経営層と連動した現場のデジタル見える化など、工場のデジタル経営を目指した製造業 DX の実践について説明いたします。

NSW 株式会社 + ロックウェル・オートメーション



NSW 株式会社サービスソリューション事業本部ビジネスイノベーション事業部スマートファクトリー部
シニアプロフェッショナル 堀内 忠彦 様

大手精密機械メーカーに勤務後、コンサルタント業務を経て、NSW (株)へ入社、お客様との共創と伴走支援のもと、製造業 DX コンサルタントを推進。技術士として生産管理、SCM、現場改善指導にも従事する。



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 エンタープライズソフトウェア
セールス本部長 吉崎 哲郎

● 14:20-14:45 401 ルーム ロックウェル講演

「近未来のデータ基盤～デジタルスレッド」

OT・IT データをつなぎ、複数システムの間に埋もれていたデータを意思決定できる情報に変える全体最適に向けたデータ活用の将来の姿を提案します。



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 シニアエグゼクティブ 経営博士 湊 則男

マツダ株式会社でエンジン設計からスタート、主力車種の主査・統括主査、そして長期戦略本部の本部長、米国の副社長を担い、その後、自動車用電子部品を扱う Tier1 サプライヤに転職、日本西部地域及び北米地域の社長を経験。昨年 7 月から現職。在職時に MBA 及び経営博士を取得、国際的な視野で実務と理論の高い次元での融合を目指している。

● 14:20-14:45 402 ルーム

「えっ、AI がラダーを設計?..そんな時代なんです」

PLC プログラム開発や HMI 設計をクラウド上で実現する FactoryTalk Design Hub を紹介します。チームの共同作業やリモートアクセスが可能となり、更に生成 AI も活用できます。



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社
ソリューションコンサルタント(IA 担当) 富田 真司

● 14:20-14:45 404 ルーム

「リニア搬送システムと自律型搬送ロボット AMR が叶えるスマートファクトリー物流の最前線」

止まらない且つ無人の物流で、リニア搬送システムと(AMR)自律型搬送ロボットが織りなす、充填・包装・搬送等工場内の生産性を飛躍的に向上させるソリューションをご紹介します。



アルテック株式会社 物流システム事業部 物流システム営業部
部長 辻本 茂浩 様



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社
独立型カートテクノロジー セールススペシャリスト 李花子

● 15:00-15:40 会場 Air ユーザ講演

「デジタル クリーン ファクトリー」

一元化された情報は、必要な時にすぐに取り出せる状態にあること。更に可視化された情報を用いて、判断業務の品質向上を目的とした。情報のメインリソースは、MES と ERP であり、今回は MES 活用によるスマート化、効率化効果の途中経過状況の説明。MES、電子ラベル、RFID 等の活用によりクリーンルーム内での半導体部品の生産工程のペーパーレス化、MES とラベラー連動によるヒューマンエラー排除も実現した。

Daikin Tsingyan Advanced Technologies (中国広東省惠州市にあるダイキンの化学事業) 製造部
品質保証課長 冷 琴琴 様



2022 年 9 月 品質保証課長として入社。3 ヶ月日本研修
2023 年 1 月～ 工場立上、製品試作、量産認証、製造全体システム導入(ISO 含む)担当
2023 年 10 月 MES システム導入・活用リーダー

● 15:55-16:20 Amphitheater 本質安全コラボ講演

「本質安全防爆による低コスト・信頼性の高い防爆対策」

かねてより日本の防爆現場では、耐圧防爆や安全増防爆といった構造での防爆対策が多く採用されてきました。そのため耐圧防爆や安全増防爆には馴染みがあるが、本質安全防爆はよく知らないというお客様の声をよくお聞きます。

本講演では本質安全防爆の仕組みや利点、ユースケースをご紹介しますとともに、他構造との違いや導入時の設計・施工面でのメリット、保守性の向上についても分かりやすく解説します。

株式会社ピーアンドエフ + ロックウェル・オートメーション



株式会社ピーアンドエフ プロセスオートメーション事業部 セールススペシャリスト 清水 孝 様
粉体処理装置の営業からファクトリーオートメーション業界での営業を経て、株式会社ピーアンドエフにて防爆機器の営業に従事。



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 ソリューションコンサルタント 盛岡 良成

● 15:55-16:20 401 ルーム ロックウェル講演

「近未来の仮想空間～デジタルツイン」

203X 年、皆 VR ゴーグルをかけ、デジタルツイン仮想生産工場に入ります。デジタルツインを活用した経営会議、デジタルツイン朝礼、定検段取り事前確認…、生産デジタルツインを活用した実生産活動があたりまえとなります。



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 グローバルデジタル設計ツール 部長 高松 典彦
1997 年三菱電機入社、燃料電池発電、原子力発電プラントの計装制御エンジニアを経て、2006 年ロックウェル・オートメーション入社、自動車グローバルプロジェクトマネージャー、システムソリューション技術部長、生産機械メーカー営業部長を経て、2021 年から現職。東工大修士、米国 P.E., PMP。

● **15:55-16:20 402 ルーム**

「製品画像認識 AI & 設備監視 AI で実現する品質改善と予防保全」

モデル作成やデータ分析の課題でお悩みの企業様へ。専門知識がなくても活用できる、ノーコード対応の弊社 AI ソリューションを使って、品質改善と予防保全を効率的に実現する方法を紹介します。



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社
アプリケーションコンサルタント 石川 鉄郎

● **15:55-16:20 404 ルーム**

「省人化・スマート製造のカギを握る！ PLC・モーション・安全制御等を一つにする統合アーキテクチャとは？」

長年の進化を遂げたこのプラットフォームが、なぜ今、製造現場で求められているのか。スマート製造の視点から、その価値と必要性をわかりやすくご紹介します。



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社
代理店統括営業部 部長 松山 昂彦

● 16:35-17:15 会場 Air パネルディスカッション

「失われた 30 年を断ち切る製造現場の抜本改革」

これまでは人海戦術でやってこれたが、すでに現場は人手不足でもう限界！

日本の経営者も現場担当もあまり知らない、海外にはすでにある課題と解決方法と実践例

パネラー

東京理科大学 工学部情報工学科 客員教授 松尾 裕一 様



1989 年東京大学機械工学博士課程修了、工学博士、同年科学技術庁航空宇宙技術研究所、1992 年 NASA Ames 研究所客員、2003 年 JAXA、2020 年東京理科大学工学部情報工学科教授、TUS デジタルツインラボラトリ

Biopharmaceutical Facility Engineering & Consulting CEO 上根 祐 様



1994 年にキリンエンジニアリング株式会社に入社。プラント建設及び施設の運営管理に関わる。計装制御・電気から機械・プロセス・CQV・PM と各分野を経験。2025 年 4 月より独立し、バイオ医薬品工場のエンジニアリングコンサルとして活動中

株式会社ジャムコ 航空機内装品事業部 業務計画部 次長 兼 戦略推進グループ長 河崎 正博 様



新卒で技術者として入社。一度退職し、外資系 IT 企業等を経て、国立研究開発法人 NEDO に入構。「5G 等の活用による製造業のダイミク・ケイパビリティ強化に向けた研究開発事業」の PM を担当し、製造業におけるデジタル活用の促進に努める。同社に再入社後は、事業戦略の立案、実行・管理、デジタル戦略の統括を行う。

モデレータ

ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 シニアエグゼクティブ 経営博士 湊 則男



マツダ株式会社でエンジン設計からスタート、主力車種の主査・統括主査、そして長期戦略本部の本部長、米国の副社長を担い、その後、自動車用電子部品を扱う Tier1 サプライヤに転職、日本西部地域及び北米地域の社長を経験。昨年 7 月から現職。在職時に MBA 及び経営博士を取得、国際的な視野で実務と理論の高い次元での融合を目指している

司会

ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 グローバルセールス&マーケティング アカウントマネージャー 菅原 一雅



協賛パートナー様のデモ展示

愛電株式会社



展示 1: 「次世代 HMI & 統合ネットワーク 制御、安全、盤内を統合化」

ロックウェル・オートメーションは産業用オープンネットワークである EtherNet/IP をコアに主要デバイス間、マシン間、基幹システムとマシン間を接続してきました。

近年はセンサ・アクチュエータ、安全機器、盤内製品をネットワーク化したことで、省配線やリアルタイム情報収集、予兆・予防保全、リモート制御を深化させ、生産性向上、ダウンタイム削減に寄与するスマート化を加速します。

展示 2: 「分散制御システム 盤レス、省配線、モジュール化の次世代制御」

分散制御システムは従来制御盤に配置していた制御モジュールのマシン側への配置（オンマシン化）を可能にします。盤の小型化、メンテナンス性の向上のほか、クイックコネクต์によるプラグ&プレイ接続、およびモジュール間のディジーチェーンによる設置時間や配線ミスの劇的な短縮、また稼働現場でのレイアウト変更の簡易化を実現する次世代技術です。

展示 3: 「インテリジェントデバイス 予防保全」

Rockwell のインテリジェントデバイスは、生産性と効率を飛躍的に向上させる先進技術を搭載。データのリアルタイム分析により、ダウンタイムを削減し、最適な運用を実現します。直感的な操作性と柔軟な拡張性を備え、工場のスマート化を加速。安全性と信頼性を追求し、あらゆる産業で価値を最大化。未来の製造業を支える、Rockwell の革新技術をぜひご体感ください。

シスコシステムズ合同会社 & ユニアデックス株式会社 「産業ネットワーク・セキュリティ/設備リモートアクセスデモ」



シスコは AI やデジタルツインといったデータの利活用による生産現場の改善をネットワークとセキュリティで支援します。今回ユニアデックスとの共同展示により、現場設備へのゼロトラストリモートアクセスのデモを行います。また、産業用スイッチによるネットワーク構築、OT セキュリティの可視化、AGV や AMR といった移動体向けの途切れない無線についてご説明します。

富士ソフト株式会社「Emulate3D と生成 AI で変革する工場 DX」



協働ロボット 2 台に加え、高速コンベアシステム MagneMoverLITE、生産実行システム Plex を絡めた外観検査デモを行います。これらを Emulate3D 上でエミュレーションすると共に、VR ゴーグルにてバーチャル体験が可能です。また、生成 AI を用いて協働ロボットを自動ティーチングし、ロボティクス領域に加えて生産現場における DX の有用性を実感いただけます。

株式会社ピーアンドエフ



「防爆リモートモニタ、タブレットによる防爆現場の DX 化のご紹介」

Pepperl+Fuchs が展開している防爆リモートモニタと、防爆タブレット(Android OS & Windows OS)を展示しております。ATEX & IECEx 認証は勿論、国内の防爆認証にも対応！

防爆タッチパネルは Zone1 対応の上 GMP にも準拠しており、モジュラーデザインにより現場での組み立ておよび復旧が可能です！是非ブースにて、実物をご覧ください！

NSW 株式会社「クラウド型 MES (製造実行システム)「Plex」」



Plex は生産現場における製造工程の管理や作業者への指示・支援などを行う MES をクラウド型で提供するサービスです。

MES の導入メリットである生産性向上・品質管理・納期短縮の実現を、従来のシステム開発より短期間・低コストで可能にします。NSW では IT エンジニアのほか OT エンジニアも多数在籍しており、経営層と現場視点から包括的なご支援をします。

株式会社守谷商会 & 東京電制工業株式会社
「プラント安全計装の市場動向及び最新シンプルソリューション」



通常計装および安全計装、機械安全およびプロセス安全、これらの統合が市場で求められています。市場要求を満たすシンプルな安全計装プラットフォームを紹介します。

実績豊富な東京電制、市場ニーズを知る守谷商会、海外からのシンプル最新ソリューションを提供するロックウェル、3社で御社の安全計装ソリューションをご提案します。

アクセンチュア株式会社「Accenture Industrial iSuite」



製造現場ではデータが複数システムに散逸。それらに精通したベテラン社員が退職していく中、プラント運営が年々困難になりつつある。本生成 AI ソリューションでは、データを統合し、ユーザーレベルを問わず一定のナレッジを自然言語形式で提供。プラントの安定操業および人材育成に貢献。

株式会社日新システムズ &
株式会社 EMPRESS SOFTWARE JAPAN
「競争力はデータが創る: OPC UA で進化する包装機械」



当ソリューションは、産業用通信規格 OPC UA を活用し、包装機械のデータ活用を革新します。PackML、Jpack-Fmt を活用し、異なるメーカーの機械やシステム間でのシームレスなデータ連携を実現し、生産ライン全体のリアルタイム監視、稼働状況の可視化、予知保全を可能にします。これにより、生産効率の最大化、ダウンタイムの削減、品質向上が図れ、データに基づいた意思決定で貴社の競争力を飛躍的に高めます。

フォーティネットジャパン合同会社「ビジネスリスクに備える OT セキュリティの進め方」



OT セキュリティといえばフォーティネット、デジタル技術活用とセキュリティ対策は表裏一体！では何をどう守るのが正解なのでしょうか。製造業の本質である「安心安全と生産活動の維持」のためのセキュリティ対策の考え方、そしてソリューション、サービスを紹介します。

伊東電機株式会社「MDR 式マテハンは「柔軟性・拡張性・短工期・省エネ」



従来の「重厚長大」システムが、「軽薄短小」システムに代わり更に進化させた「柔拡張省」システムと Emulate3D を使用事例のご紹介も織り交ぜながらご紹介をします。時代をとらえ、未来をつくる伊東電機のコア技術「MDR 式マテハン」によって多様化・高度化にお応えする搬送ソリューションをご提案いたします。

株式会社クマエンジニアリング「リニア搬送システムで次世代の生産ラインを構築!」



重量物をかかってないスピードで搬送できるリニア搬送システム "QuickStick" のご紹介です。人材不足の今日、メンテナンスや工数等、削減したいがなかなか解決方法が見つからない方、いらっしゃいませんか？そんなお悩み、"QuickStick" が解決出来るかもしれません。搬送システムの部品点数を圧倒的に抑えることでメンテナンスの頻度&コストの削減に加え、高速搬送で生産能力 UP を実現します。

株式会社 新星工業社「IEC61439 規格に準拠した配電盤システム「CUBIC」



弊社では、ロックウェル社とゴールド認定 SI 契約を締結し、国際規格「IEC61439」に準拠した、配電盤システム「CUBIC」を製造・販売することができるようになりました。近年データセンターや半導体のユーザー企業などで本規格に準拠することを要望されるケースが増えていますが、国内の盤メーカーで対応できる企業は限られています。今回、製作したデモ機を見ていただきながら、本製品のご紹介ができればと思います。

「デジタルツイン・ソリューション&人財育成に関するご紹介」

製造業における生産高度化への要求に対し、デジタルツインや仮想空間での3Dシミュレーションを活用して効率向上を図るケースが増大しています。テクノプロ・デザイン社が取り組んできた企業向けソリューション、モデル開発、知識処理による分析技術等の応用事例をご紹介します。更に、それら先進技術を統合的に使いこなせるデジタルツイン人財の育成に関し、産学連携の取組みを交えてご説明します。

ロックウェル・オートメーションのデモ展示

ロックウェル・オートメーション「OTセキュリティエンドポイントプラットフォーム「Verve」



OTセキュリティ対策で可視化ツールを導入済/検討中の方、必見！

可視化後の対策、どうしますか？

Verveは業界で唯一のOT/ICS向けエンドポイントプラットフォームです。

OT資産のDeepな可視化を行い、セキュリティ対策として、脆弱性管理や脅威検出はもちろん、現場効率化のため、パッチ管理、変更管理、バックアップ自動化など、現場目線がかゆい所に手が届く機能までオールインワンで備えています。



ロックウェル・オートメーション「自動搬送ロボット OTTO」



「人手不足」「生産性向上」「安全確保」——すべて解決する！

人や障害物を自動回避し、最適ルート、行動を自動判断できる送ロボット(AMR)で、物流及び製造現場の革新を一步先へ導きます。今ここで、現場の未来を体感しましょう！

ロックウェル・オートメーション「将来に亘る製造課題への打ち手-サイバー・フィジカル・システム」

近年の製造業において、生産効率の追い込みや新規工場/設備の垂直立ち上げ、より一層の品質向上といったテーマを持った企業が増加してきています。一方で、生産現場の人手不足や知見継承などに対して課題感を持たれている企業も少なくはありません。このデモでは、その様なテーマや課題感に対し、近代技術の役割や貢献といった事柄を主意として、各システムの融合により成し得るコトについて紹介します。

ロックウェル・オートメーション「デジタルツインズ VR 体験コーナ」



デジタルツインの未来の世界へようこそ

203X年、皆VRゴーグルをかけ、デジタルツイン仮想生産工場に入ります。

デジタルツインを活用した経営会議、デジタルツイン朝礼、定検段取り事前確認…、生産デジタルツインを活用した実生産活動があたりまえとなります。

みなさまも一足先にデジタルツインの未来を体験ください。

お楽しみスタンプラリーのご案内

ROKLive Japan 2025 ではスタンプラリーを開催します。

講演、デモ展示をご覧になって各ブースでスタンプを集めてください！

スタンプラリー参加方法

1. 受付の際にスタンプラリーの台紙をお渡しします。
2. スタンプラリーの台紙に、参加された講演・デモ展示ごとにスタッフがスタンプを押します。
3. スタンプを3個以上集めた方は、豪華賞品のあたる抽選に参加できます。

この抽選はスタンプを集めるほど当選確率が上がります。

皆様、ふるってスタンプを集めてください！

※ 参加賞はスタンプラリーに参加された方全員にスタンプの数に関わらず差し上げます。



★ 特賞 3 名様: マキタのスティック掃除機

★ 準賞 25 名様: Amazon ギフトカード 5 千円分

★ 参加賞: ドリップコーヒーまたはめぐりズム

会場レイアウト



協賛パートナー

プラチナスポンサー



ゴールドスポンサー



ドリンクスポンサー



ストラップスポンサー



エメラルドスポンサー



シルバースポンサー

